

## 令和6年度 第4回大月みらい協議会 会議概要

日 時：令和6年8月28日（水）18時00分～19時50分

場 所：大月市立大月短期大学 L号館1階 会議室

出席委員：白川恵子、鈴木龍子、中島啓介、竹下文仁、山口隆太郎、桑原駿  
（敬称略）

事務局：小林市長、杉本課長、上條リーダー、石丸主事、福嶋主事補

### 1 開会（司会：杉本課長）

### 2 市長あいさつ（大月市長 小林信保）

本日もお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。最後の会議となりますが、前回同様に皆様から忌憚のないご意見をいただきながらより良い会議にしていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

### 3 議長あいさつ（中島啓介議長）

お忙しい時間にも関わらずお集まりいただきましてありがとうございます。第3期総合戦略については本日で最後となります。本日も事務局に進行をお任せします。よろしく願いいたします。

### 4 議事

議事（1）第3期大月市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標と方向性について

（進行：中島啓介議長）

それでは、議事に入ります。まずは、「議事（1）第3期大月市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標と方向性について」です。事務局より説明をお願いします。

（事務局：上條リーダー）

まず、前回会議までの振り返りをいたします。1回目の会議では、令和7年度から始まる第3期総合戦略を作成するにあたり、皆様から大月市の目指すべき理想像や具体的に取組んでいくべきことについてご意見をいただきました。その後皆様からいただいたご意見をもとに、事務局で基本目標とその方向性の案を作成いたしました。2回目会議では、その文言や内容の修正・削除するべき点についてご意見をいただきました。しかし、まとまりきらない部分もあったため、本日お配りした資料を使用して再度説明をいたします。

本日お配りした資料は、文言の修正と、基本目標とその方向性を優先順に並び替えたものとなります。前回、[雇用]の基本目標について、「地域で興し働けるまち」という事務局案を挙げました。皆様からは「地域を」や「働きたくなるまち」とい

うご意見をいただきました。このような皆様からいただいたご意見は、米印で記載をしております。

次に、[人の流れ]の基本目標につきましては、「ふらっと立ち寄りたくなるまち」という事務局案を挙げました。皆様からは「また来たくなるまち」や「ふらっと立ち寄りまた来たくなるまち」というご意見をいただきました。

[結婚、出産、子育て]の基本目標につきましては、「結婚・出産・子育てしやすいまち」という事務局案を挙げました。皆様からは「したくなるまち」というご意見をいただきました。また、「強調する言葉を付けたらどうか。」というご意見から「キラキラ結婚・ドキドキ出産・ワクワク子育てしたくなるまち」、「結婚・出産・子育てをまとめて表現できないか。」というご意見から「ライフステージを輝かせるまち」、「市長のスローガンである『笑顔』を入れたらどうか。」というご意見から「笑顔で迎える結婚・出産・子育てしたくなるまち」、「笑顔で結婚・出産・子育てしたくなるまち」という目標案を事務局で作成し、追加しております。また、「胸きゅん未来のまち」というご意見もいただきましたので記載してございます。

[暮らしやすいまちづくり]につきましては、「住みたくなる魅力あるまち」という事務局案を挙げました。皆様からは「いい空気で深呼吸～」というご意見をいただいております。また、その際に「サブ目標のようなものがあったら良いと思う。」というご意見もいただいております。

基本目標の方向性につきましては、ある程度順位づけをいたしました。数字に括弧が付いているものは順位づけをしており、何も付いていないものはコメント欄にあるとおり、順位をつけるに至らないと判断しました。

今回皆様には、基本目標をそれぞれ1つずつ選んでいただくとともに、基本目標の方向性を2つないし4つくらいに絞っていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

(白川恵子委員)

[結婚、出産、子育て]の基本目標について、障害児やその家族はここに含まれているのでしょうか。これだと理想の家族像を描いているだけに感じます。この項目に限らず基本目標は、理想像を描くだけではなく問題点にも触れながら、それをどのように乗り越えていくのかという観点で設定するべきだと思いました。

(事務局：杉本課長)

[結婚、出産、子育て]の幸せは障害児がいる家庭の中にも存在すると思っております。その意味ではここに含まれていると言えると思っておりますし、幸せというのは人それぞれであるため、一部の方や家庭を取り上げて基本目標とすることは難しいです。

(鈴木龍子委員)

そのような観点で考えると、「胸きゅん未来のまち」は除外して良いと思いたしました。また、「子育てにとことん寄り添う」などももう少し言葉を変えても良いと思っております。

(白川恵子委員)

[結婚、出産、子育て]の基本目標の方向性に「(1)若い世代の希望をかなえる

環境づくり」とありますが、「若い世代」と限定しない方が良いと思います。「若い世代」と言われて想像するのは20代から30代ですが、実際は晩婚化やライフスタイルの変化により高齢出産が一般的になっているため、限定的な言葉は必要ないと思います。

(事務局：上條リーダー)

確かに晩婚化や高齢出産を考慮すると、もう少し広く捉えられる言葉の方が良いとも思います。例えば、「それぞれの年代に合わせた」という表現にしても良いかもしれませんが、しかし、収入の少ない20代から30代に対して、国が支援をすることで結婚や出産に踏み切ってもらおうとする動きがあることから、大月市としても「若い世代」という言葉は切り捨てにくいと感じています。

(白川恵子委員)

今の話だと、そもそも「若い世代の希望をかなえる環境づくり」は[結婚、出産、子育て]ではなく他の項目に入れた方が良いと思いました。

(事務局：上條リーダー)

国は、結婚して子どもを産んでもらい人口を増やす、という目的のもと各々が望むタイミングで希望が叶えられるように支援をしています。このことから[結婚、出産、子育て]の項目に該当すると考えました。

(事務局：杉本課長)

今の話と似たような部分が[雇用]の基本目標の方向性「(1)第1次産業(農林業)・第3次産業(観光商業)の復興」にもあると思いました。大月市の基幹産業は第2次産業ですが、あえて非基幹産業の第1次産業と第3次産業に注力しようとしています。これについて、第2次産業に従事する桑原駿委員からご意見をいただきたいです。

(桑原駿委員)

第1次産業と第3次産業が非基幹産業であることを認識しておりましたし、これは、大月市全体として産業をどうしていくのか、という問題であると捉えているため、第2次産業に従事する者として反対意見は無いです。

(小林市長)

対象範囲を狭めるまたは広げることについては、成果に結びつくか否かという基準で判断すべきだと思います。[結婚、出産、子育て]については、晩婚化は解決すべき問題であると認識していますし、特徴を出すためにも「若い世代」という言葉を入れて対象範囲を狭める方が良いと思います。[雇用]については、「働く人を増やす」、「地域経済を潤す」という指標で考えると、対象範囲を狭めすぎると成果が出しにくくなってしまうと思いました。

(中島啓介議長)

第1次産業と第3次産業に注力することは良いと思いました。一方、[雇用]の基本目標の方向性「(2)交通の便(地の利)を活かした産業の振興」というのは、どこを目標にどのような施策をするのかイメージしにくいと感じました。また、コメント欄にもあるように首都圏をマーケットとして捉えることについて、基本目標

の方向性「(3) 地産地消・地産外商の推進」と重複する部分があると思います。

(事務局：上條リーダー)

事務局といたしましても(2)は(3)の基本目標の方向性に含むことができると考えましたが、今回は具体的に表現するためにあえて2つに分けて提案いたしました。また、(1)の基本目標の方向性は、地の利を活かして東京の市場で農産物を売り込んだり、都内から人を呼び込んだりすることが想定されるため、(2)とまとめることもできると考えています。

(竹下文仁委員)

[雇用]の基本目標の方向性(1)について、これらは基本的に市内に住んでいる方々に向けて発信する内容であるはずなのにも関わらず、基幹産業である第2次産業を除外してしまって良いのかと思いました。また、市民に大きく影響するのは[結婚、出産、子育て]だと思いますが、この基本目標の方向性が分かりにくく、具体的施策が想像しにくいと感じました。

(小林市長)

先程述べたとおり第1次産業・第3次産業だけに限定しない方が良いと思います。地の利を活かすという観点だと、都内から製造業や建設業などの第2次産業を誘致することも可能だと思います。また、[雇用]の基本目標案にある「笑顔で働く」という言葉をメインにし、サブタイトルとして「～地域で興し、地域を興す～」としてはどうでしょうか。

(山口隆太郎副議長)。

[結婚、出産、子育て]の基本目標の方向性「(2) 地域で見守る子育て支援の充実」を「多様な子育てを地域で支援する」という表現にすれば、白川恵子委員が仰っていた障害児とその家族も含まれることが伝わると思いました。また、「(3) ワークライフバランスの充実」の具体的施策が想像しにくいと思いました。

(小林市長)

[結婚、出産、子育て]の基本目標とその方向性について、結婚や出産、子育てに喜びを感じてもらえるような内容にしたいと思いました。

(白川恵子委員)

子どもを産み育てることを押し付けるような表現ではなく、「地域で子どもを育てる」という雰囲気の方が良いと思います。

(竹下文仁委員)

尖った施策を打ち出すのは、[結婚、出産、子育て]以外の項目の方が良いと思います。

(事務局：上條リーダー)

晩婚化や高齢出産、里親になって子育てをするなど多様なスタイルがあることから、「若い世代」という言葉は使用せずに「全て」のような意味合いの文言にしたと思うのですが、良い言葉があればご意見をいただきたいです。

(事務局：杉本課長)

「多様性」という言葉を入れたいです。

(中島啓介議長)

最初の白川恵子委員の話聞いて「誰もが」という言葉が良いと思いました。また、「若い世代」に範囲を絞って手厚い支援をする方向性は良いと思っています。

(白川恵子委員)

私も若い世代への支援には賛成です。これからの社会をつくっていくのは若者なので、彼らに対して重点的な支援をすることは良いと思います。

(竹下文仁委員)

[雇用]と[人の流れ]については、尖ったフレーズを用いても市長のご意見を全面的に打ち出す方向で良いと思います。一方、[結婚、出産、子育て]と[暮らしやすいまちづくり]は曖昧な表現にした方が良いでしょう。

(小林市長)

[雇用]については「笑顔で働く」という言葉をメインにし、サブタイトルとして「～地域で興し、地域を興す～」としたいと考えています。[人の流れ]についても「笑顔」を入れたいのですが、良いフレーズがあればご意見をいただきたいです。

(事務局：上條リーダー)

[人の流れ]の基本目標について、「笑顔溢れる」というフレーズにするのでしょうか。外から来る人々と今住んでいる人々両方にとって笑顔が溢れるまちななれば良いと思ったのですが、ご意見をいただきたいです。

(小林市長)

「笑顔溢れる」というワードは[人の流れ]以外の項目でも使用できてしまうと思いました。「笑顔が行き交う」というワードはどうでしょうか。

(鈴木龍子委員)

[人の流れ]という項目に合っている、素敵な表現だと思います。

(鈴木龍子委員)

「笑顔」というキーワードは、全てに入れるくらいで良いと思います。また、[結婚、出産、子育て]の項目こそエッジを効かせて良いと思います。例えば、思い切って結婚と出産という言葉は省いて子育てだけでも良いと思いました。

(白川恵子委員)

大月市での出生数は低いですが、市外で出産をして戻ってくるもしくは移住してくる方は多いので、子育てに注力することは良いと思いました。

## 議事（２）その他

(進行：中島啓介議長)

次に「議事（３）その他」について、皆様から「大月仕事人」の推薦はございますか。

【意見等】 なし

「大月仕事人」の残り1枠については、事務局にお任せします。

## 5 閉会